市立（仮称）大宮第二小学校 新築に伴う地質調査

土質柱状図 (NO. 1)

調査地 千葉市 大宮町 2632　　調査年月日 昭和47年5月7日～47年5月21日

標高 BM＋1.195 M　　孔内水位 G.L.－4.15 M　　技術者

標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	柱状図	色調	土質名	観察	相対密度	相対稠度	現位置試験深度 m
		0.45	0.45		暗灰	表土	草根多量に混入する			
1					暗黄灰色		礫10%程度混入		軟	
2										
3		3.90	3.35							
4					黄褐	粘土質	3.90～4.50m迄 礫石が粘土化し多量に混入 4.50mより乳白灰の粘土で粘着力強		硬	
5		5.15	1.35		乳白灰					
6		6.40	1.25		黄褐	砂混り粘土	雲母片少量混入			
		6.80	0.40		暗黄褐	粘土質細砂	全体に粘土分混入する			
7					暗黄褐	細砂	砂粒子不均一で粘土化した礫石を多量に混入 酸化している			
8		8.00	1.20							
					黄褐	粘土混り細砂	局部に粘土を挟む			
9		9.10	1.10		黄褐					
10					暗黄灰		10m付近 礫石混入する 全体に風化した礫石は混入			
11							9.90m付近より色調暗黄灰色に変わる			
12							12.70mより黄灰色に変わる			
					黄灰	細砂				
13										
14							14.20mより細砂と微細砂の互層になっている 粒子均一 色木大 雲母片少量混入		密	
15									中	
16		16.10	7.00						密	
					暗黄灰		所々に中砂を介在する			
17					暗黄褐	細中砂	17.20mより暗黄褐 風化した礫石を多量に挟む			
18						細砂				
19							19.00m付近より色調暗黄灰に変わる 全体に雲母片混入			
20		20.45	(4.35)						密	

標準貫入試験

深度 m	N値 回/cm	10cm毎の打撃回数 10cm	20cm	30cm
1.15 1.50	4/35	1 1	1 9	2 15
2.15 2.49	3/34	1 16	1	1 18
3.15 3.51	3/30	1 15	1 13	1 18
4.15 4.48	2/33	1 21	1 12	
5.15 5.45	10/30	2	4	4
6.15 6.45	3/30	1 15	1	1 15
7.15 7.45	11/30	3	4	4
8.15 8.45	9/30	2	3	4
9.15 9.45	21/30	5	7	9
10.15 10.45	17/30	4	5	8
11.15 11.45	17/30	5	6	6
12.15 12.45	17/30	3	5	9
13.15 13.45	18/30	5	6	7
14.15 14.45	34/30	9	12	13
15.15 15.45	26/30	4	9	13
16.15 16.45	49/30	11	17	21
17.15 17.37	50/22	15	27	8/2
18.15 18.45	46/30	8	15	23
19.15 19.45	50/30	13	16	21
20.15 20.45	47/30	12	16	19

N値 0 10 20 30 40 50

試料

採取方法 乱さない試料	採取方法 乱した試料	採取深度 m	標尺 m
			1
			2
			3
			4
			5
			6
			7
			8
			9
			10
			11
			12
			13
			14
			15
			16
			17
			18
			19
			20

千葉市立(仮称)大宮第二小学校新築に伴う地質調査

土質柱状図 (NO. 2)

調査地 千葉市大宮町 2032

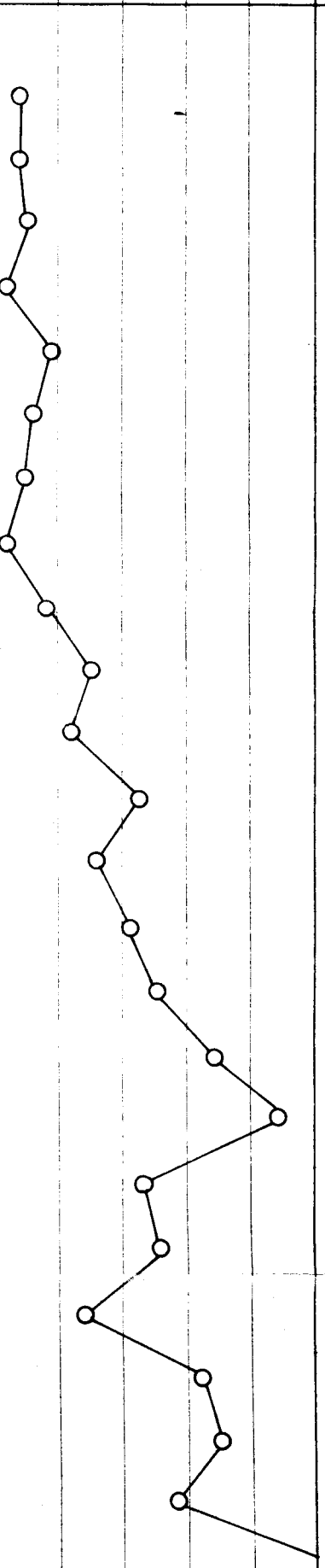
調査年月日 昭和47年5月4日～47年5月6日

標高 B.M.＋1.420 M　　孔内水位 GL －4.10 M　　技術者 ―

標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	柱状図	色調	土質名	観察	相対密度	相対稠度	現位置試験深度 m
		0.45	0.45		暗灰	表土	草根多量に混入			
1～3		3.95	3.50		暗黄灰	ローム	不均質に混入する		中	
4～5		5.15	1.30		黄褐～暗黄灰	凝灰質粘土	上部4.50m迄所々に浮石中多量混入 4.50mより色調暗黄灰に変わる		軟～中	
6		6.60	1.05		黄褐	砂混り粘土	所々凝灰質粘土を挟む 軽石片少量混入する			
6		6.90	0.65		黄褐	砂質粘土	含水大			
7～8		8.00	1.20		黄褐	粘土混り細砂	ポケット状又は形状に粘土を挟む	緻		
8		8.47	0.47		暗黄灰	粘土	凝灰質粘土			
9		9.10	0.63		黄褐	粘土混り細砂	粘土化した浮石多く混入			
10～14		15.35	6.25		黄褐～暗黄灰	細砂	13mより粘土ブロック混入 14m付近より色調暗黄灰に変わる 含水中位	中		
15		16.00	0.65		暗黄灰	細砂	軽石片少量混入			
16～18					黄褐	細砂	軽石片混入 形状に粘土化した浮石を挟む	密～中		
19		19.95	3.95				19mより粘土をポケット状に混入			
20		20.25	0.30		黄灰	粘土	軽石片少量混入			
21～23					暗黄灰	細砂	20.40m迄形状に粘土を少量挟む 全体に軽石片浮石を少量混入する 23.35m付近より締っている	密		
24～26		26.38	(6.13)					密		

標準貫入試験

深度 m	N値 回/cm	10cm毎の打撃回数 10cm	20cm	30cm	N値
1.15～1.45	4/30	1	1	2	2
2.15～2.46	4/31	1	1	2	2
3.15～3.45	5/30	1	2	2	2
4.15～4.45	2/33	1	1	1	1
5.15～5.45	4/30	2	3	4	7
6.15～6.45	6/32	2	2	2	4
7.15～7.45	5/34	2	2	1	3
8.15～8.45	2/34	1	1	1	2
9.15～9.45	3/30	2	2	4	6
10.15～10.45	12/30	4	5	6	11
11.15～11.45	12/30	4	4	4	8
12.15～12.45	12/30	6	8	8	16
13.15～13.45	16/30	4	6	6	12
14.15～14.45	21/30	8	7	6	13
15.15～15.45	25/30	7	7	11	18
16.15～16.45	34/30	6	13	15	28
17.15～17.45	44/30	15	14	15	29
18.15～18.45	23/30	5	6	12	18
19.15～19.45	26/30	8	7	11	18
20.15～20.45	14/30	2	5	7	12
21.15～21.45	32/30	8	10	14	24
22.15～22.45	35/30	9	11	15	26
23.15～23.45	28/30	5	4	19	23
24.15～24.44	50/29	15	18	17/9	35
25.15～25.36	50/21	18	28	4/1	32
26.15～26.38	50/23	15	23	12/3	35



試料

採取方法 乱さない試料	採取方法 乱した試料	採取深度 m

ボーリング柱状図

調　査　名　千葉市立大宮台小学校エレベータ設置地質調査業務委託

ボーリング№

事業・工事名

シート№

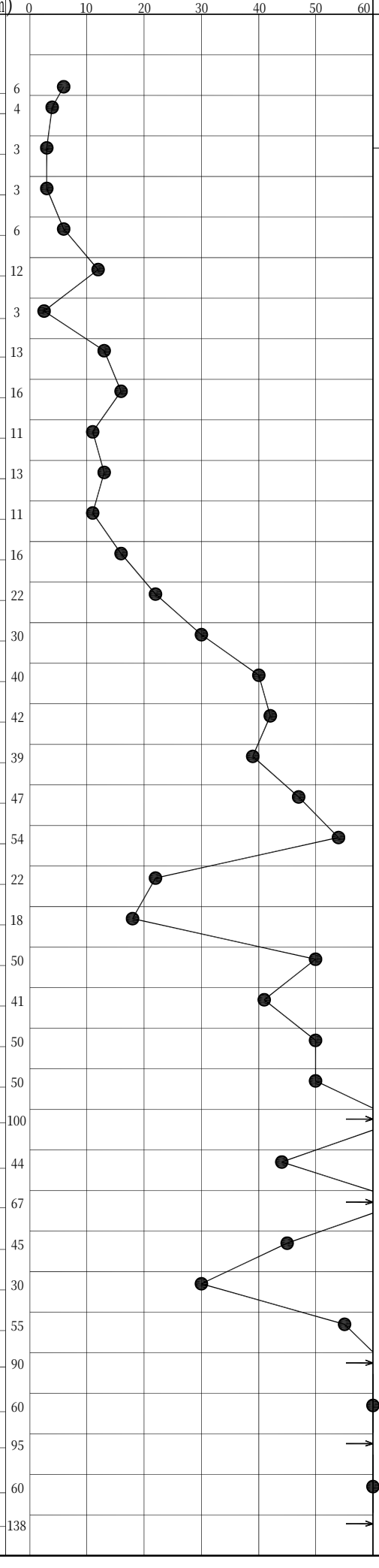
ボーリング名	No.1	調査位置	千葉市若葉区大宮町2082番地			北緯	35° 35' 06.22"
発注機関	千葉市都市局建築部営繕課			調査期間	平成 25年 8月 6日 ～ 25年 8月12日	東経	140° 11' 11.97"
調査業者名				現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	KBM -0.33m	角度	180°上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90° 0°	使用機種	試錐機 KR-100	ハンマー落下用具	半自動型
総掘進長	37.28m								エンジン NFD-9H	ポンプ	V6-B

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	-0.78	0.45	0.45		埋土	暗褐		中位	コンクリートガラ、礫、砂、ロームなど混在。
	-1.03	0.25	0.70		有機質ローム	黒褐			均質で含水少ない。ローム混在。
1					ローム	茶褐		中位	上部は含水少ない。 比較的均質な関東ローム。
2									3m粘土化進む。 下部にしたがい含水多くなる傾向。
3	-4.13	3.10	3.80						宙水は分布せず(8/6確認時点)。
4	-4.68	0.55	4.35		凝灰質粘土	褐灰～黄褐		軟らかい	粘性強い。含水多い。
5					砂混じり凝灰質粘土	黄褐		中位	全体に細砂混入。 下部にしたがい細砂混入多くなる。
6	-6.13	1.45	5.80						5mやや硬くなる。
7	-7.48	1.35	7.15		粘土質細砂	茶褐	中位		粘土混入。含水少ない。 酸化する。締まり程度は中位。 7m含水多い。
8	-8.23	0.75	7.90		凝灰質粘土	灰褐		軟らかい	粘性強い。
9					細砂	茶褐～褐灰～暗褐	中位		茶褐色。火山灰をシーム状に挟む。 含水少ない。 火山灰混入やや多い。
10									褐灰色となる。火山灰多い。
11									締まり程度は全体に中位。
12									浮石、火山灰混入多い。
13									火山灰挟む。雲母片混入。 砂の粒子細かい。
14									暗褐色となる。砂の粒子細かい。
15	-15.33	7.10	15.00		細砂	暗褐～暗茶褐～暗褐	密な		暗褐色。 全体に密に締まっている。
16									砂粒子やや粗くなる。
17									暗茶褐色となる。 酸化して固結状を呈するところあり。
18									凝灰質のシルトを5cm程度の厚さで挟む。
19									暗褐色となる。 雲母片混入
20	-20.93	5.60	20.60						部分的に酸化して固結状を呈する。
21					細砂	暗褐	中位		砂粒子均一。
22	-23.33	2.40	23.00						火山灰をシーム状に挟む。
23					細砂	暗褐灰	密な～非常に密な		密に良く締まっている。
24									色調暗くなる。
25									密に良く締まっている。
26									全体に砂粒子細かい。
27									色調やや明るくなる。 非常によく締まっている。
28									火山灰・浮石少量混入。
29									砂粒子不均一。 非常によく締まっている。
30									砂粒子不均一。 浮石・火山灰を薄く挟む。
31									浮石・火山灰を薄く挟む。 N値のばらつきに注意。
32	-32.33	9.00	32.00		細砂	暗褐灰	非常に密な		砂粒子やや粗く不均一。 浮石混入。非常に密に締まる。
33									色調やや明るくなる。 非常によく密に締まっている。
34									色調やや暗くなる。 浮石混入。
35									部分的に暗茶褐色で固結する。
36									浮石をシーム状に挟む。
37	-37.61	5.28	37.28						砂粒子細かくよく締まっている。

孔内水位(m)／測定月日：宙水 8/7 7.00 ▽ 無水掘り確認水位 8/8 9.70 ▽ 泥水位

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.65–1.95	2／12	2	2／8	6／30	6
1.95–2.15	1／9	2／11	1	4／30	4
2.45–3.15	1	1	1	3／30	3
3.45–4.15	1／19	2／11		3／30	3
4.45–5.15	2	2	2	6／30	6
5.45–6.15	3	4	5	12／30	12
6.45–7.15	1／18	1	1／7	3／35	3
7.50–8.15	4	4	5	13／30	13
8.45–9.15	4	5	7	16／30	16
9.45–10.15	3	3	5	11／30	11
10.45–11.15	4	3	6	13／30	13
11.45–12.15	3	2	6	11／30	11
12.45–13.15	4	6	6	16／30	16
13.45–14.15	6	7	9	22／30	22
14.45–15.15	8	8	14	30／30	30
15.45–16.15	10	14	16	40／30	40
16.45–17.15	10	14	18	42／30	42
17.45–18.15	8	15	16	39／30	39
18.45–19.15	11	17	19	47／30	47
19.45–20.15	14	17	23	54／30	54
20.45–21.15	6	6	10	22／30	22
21.45–22.15	3	6	9	18／30	18
22.45–23.15	14	19	17	50／30	50
23.45–24.15	11	14	16	41／30	41
24.45–25.15	11	18	21	50／30	50
25.45–26.15	16	15	19	50／30	50
26.45–27.15	30	30／8		60／18	100
27.33–28.15	10	14	20	44／30	44
28.45–29.15	19	23	18／7	60／27	67
29.42–30.15	10	15	20	45／30	45
30.45–31.15	9	9	12	30／30	30
31.45–32.15	11	18	26	55／30	55
32.45–33.15	23	37		60／20	90
33.35–34.15	14	19	27	60／30	60
34.45–35.15	20	40／9		60／19	95
35.34–36.15	14	20	26	60／30	60
36.45–37.15	41	19／3		60／13	138
37.28					



原位置試験

深度 (m)	試験名および結果
3.30–3.30	孔内水平載荷試験

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験(　)	掘進月日
2.00–2.80	1D-1	Ⓓ	物理 一軸 三軸UU 圧密	8／9
4.00–4.80	1D-2	Ⓓ	物理 一軸 三軸UU 圧密	
6.15–6.45	1P-6	⊖	簡易粒度	8／6
7.15–7.50	1P-7	⊖	簡易粒度	
8.15–8.45	1P-8	⊖	簡易粒度	
10.15–10.45	1P-10	⊖	簡易粒度	
13.15–13.45	1P-13	⊖	簡易粒度	
14.15–14.45	1P-14	⊖	簡易粒度	
15.15–15.45	1P-15	⊖	簡易粒度	
16.15–16.45	1P-16	⊖	簡易粒度	
20.15–20.45	1P-20	⊖	簡易粒度	
21.15–21.45	1P-21	⊖	簡易粒度	
23.15–23.45	1P-23	⊖	簡易粒度	8／7
30.15–30.45	1P-30	⊖	簡易粒度	
31.15–31.45	1P-31	⊖	簡易粒度	
33.15–33.35	1P-33	⊖	簡易粒度	8／8